

28年9月分 製材工場の荷動き・価格先行き動向調査 1

1. 調査実施期間 平成28年9月1日～ 28年9月10日

2. 調査実施方法

全国の国産材製材工場に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。
9月分の回答企業数は15社である。

3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight.D.I.(ウェイト・ディフュージョン・インデックス)={(「増加」の評価を行った回答の割合)×2+(「やや増加」の評価を行った回答の割合)-(「減少」の評価を行った回答の割合)×2-(「やや減少」の評価を行った回答の割合)}÷2
したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

4. 調査結果の概要

ア. 国産材

(1) 製材用原木荷動き動向 Weight. D. I.

品目		28/9月	10月	11月
入荷動向	スギ	5.0	10.0	20.0
	ヒノキ	12.5	6.3	12.5
	カラマツ	△ 50.0	0.0	0.0
	トドマツ	△ 50.0	0.0	0.0
消費動向	スギ	10.0	5.0	5.0
	ヒノキ	6.3	0.0	0.0
	カラマツ	50.0	50.0	50.0
	トドマツ	0.0	0.0	0.0
在庫動向	スギ	△ 2.8	△ 8.3	△ 8.3
	ヒノキ	12.5	0.0	△ 6.3
	カラマツ	—	—	—
	トドマツ	△ 50.0	0.0	0.0

・スギ及びヒノキの製材用原木の入荷は3ヵ月連続して増加。カラマツ及びトドマツは9月の減少が、10月、11月は横ばい。

・スギ及びカラマツの製材用原木の消費は3ヵ月連続して増加。ヒノキは9月のやや増加が、10月、11月は横ばい。トドマツは3ヵ月連続して横ばい。

・スギ原木の在庫は3ヵ月連続して減少。ヒノキは9月の増加が、10月は横ばい、11月は減少。トドマツは9月の減少が、10月、11月は横ばい。

(2) 製材原木価格動向 Weight. D. I.

品目	28/9月	10月	11月
スギ	7.5	5.0	10.0
ヒノキ	6.3	0.0	0.0
カラマツ	0.0	0.0	0.0
トドマツ	0.0	0.0	0.0

・スギ原木価格はやや強含みで推移。ヒノキは9月のやや強含みから保合いに。カラマツ及びトドマツは3ヵ月連続して横ばい。

モニターからのコメント

' (原木荷動き)

- ・8月も天候不順と台風で原木入荷は良くなかった。9月は例年雨が多く、入荷回復は期待できない。9月より国内向けパレット受注が増加、生産量は増えている(北海道)。
- ・台風の林道被害がどう影響するか? 別問題としてトラック台数の減少。原木消費は月約5,000m³のフル生産(北海道)。
- ・今月は天候不順等で入荷減。販売は好調で安定消費(関東)。
- ・スギ、ヒノキ共に生産量並みの仕入れ。ヒノキの生産を強める。ヒノキの在庫やや増加(関西)。
- ・9月から11月にかけて入荷、消費、在庫減らす(中国)。
- ・入荷は多少、少ないように思う。消費は特に変化なし(中国)。
- ・天候も回復、記念市続きで出材も増加する。在庫はやや増加気味(九州)。
- ・山林業者を含め各原木市場、順調に出材している状況、後は台風次第(九州)。

(原木価格)

- ・台風の影響がどうなるか(北海道)。
- ・来月より出荷増で価格下落(関東)。
- ・ヒノキは出材量少なく、多少価格が上昇する可能性あり(関西)。
- ・ヒノキは9月から10月はやや下落、11月は横ばい(中国)。
- ・特に変化ない(中国)。
- ・買い気旺盛で価格少し上昇(九州)。
- ・スギはやや過剰な出材量のため、九州エリアは全体的に下がり相場であるが、ヒノキは逆に原木不足感が否めない(九州)。

28年9月分 製材工場の荷動き・価格先行き動向調査 2

(3) 製材品荷動き動向 Weight. D. I.

品目		28/9月	10月	11月
生産動向	スギ	△ 5.0	△ 5.0	△ 5.0
	ヒノキ	6.3	0.0	△ 6.3
	カラマツ	50.0	50.0	50.0
	トドマツ	0.0	0.0	0.0
出荷動向	スギ	15.0	10.0	0.0
	ヒノキ	25.0	18.8	0.0
	カラマツ	50.0	50.0	50.0
	トドマツ	0.0	0.0	0.0
在庫動向	スギ	△ 18.8	△ 31.3	△ 18.8
	ヒノキ	△ 7.1	△ 14.3	△ 21.4
	カラマツ	50.0	50.0	50.0
	トドマツ	0.0	0.0	0.0

・スギ製材品の生産は、僅かだが3ヵ月連続して減少。ヒノキは9月の増加が、10月は横ばいだが、11月は再び減少。カラマツは3ヵ月連続して増加。トドマツは3ヵ月連続して横ばい。

・スギ及びヒノキ製材品の出荷は9月、10月の増加が、11月は横ばいに。カラマツは3ヵ月連続して増加。トドマツは3ヵ月連続して横ばい。

・スギ及びヒノキ製材品の在庫は3ヵ月連続して減少。カラマツは3ヵ月連続して増加。トドマツは3ヵ月連続して横ばい。

(4) 製材品出荷価格動向 Weight. D. I.

品目		28/9月	10月	11月
スギ	柱角 KD10.5×3	13.6	9.1	4.5
	柱角 KD12×3	4.5	4.5	9.1
	通し柱 12×6	0.0	0.0	0.0
	桁角	△ 5.6	△ 5.6	0.0
	母屋角	0.0	6.3	12.5
	タルキ	0.0	0.0	0.0
	間柱	5.6	11.1	5.6
	ヌキ	0.0	0.0	0.0
	平割	0.0	0.0	0.0
	ラミナ	0.0	0.0	10.0
ヒノキ	柱角 KD10.5×3	7.1	0.0	0.0
	柱角 KD12×3	0.0	0.0	0.0
	土台角 10.5×4	7.1	0.0	0.0
	土台角 12×4	0.0	0.0	0.0
	通し柱 12×6	0.0	0.0	0.0
	ラミナ	0.0	0.0	0.0
カラマツ土台角10.5×4	—	—	—	
〃 梱包仕組み板	0.0	0.0	0.0	
〃 ラミナ	0.0	0.0	0.0	
トドマツサンギ	0.0	0.0	0.0	

・スギ製材品の出荷価格は、柱角、母屋角及び間柱はやや強含みで推移。通し柱、タルキ、ヌキ及び平割は3ヵ月連続して横ばい。桁角はやや弱含みで推移。ラミナは11月にやや強含み。

・ヒノキ製材品の価格は9月に一部やや強含みがあるが、総じて横ばいで推移。

・カラマツ梱包仕組み板及びラミナは3ヵ月連続して横ばい。

・トドマツサンギは3ヵ月連続して横ばい。

モニターからのコメント

(製材品荷動き)

- ・カラマツはKDパレットの受注増で、ランニングストックが増加(北海道)。
- ・フル生産、原木在庫を見ながら生産する。生産分は販売するで、在庫は横ばい(北海道)。
- ・売れ行き良くない(関東)。
- ・原木不足のため出荷減。スギは販売好調のため在庫減(関東)。
- ・ヒノキ製材進める。9~10月各ハウスメーカーからの受注が多く出荷増、但し、現場の遅れも懸念され11月頃には平準化されるのでは。在庫調整中(関西)。
- ・9月から11月はヒノキ生産量は変えない。出荷、在庫は大きく変化なし(中国)。
- ・出荷は安定しているが、売れない製品は全く売れない。生産減で在庫水準は低下中(中国)。
- ・出荷がやや増加。そのため在庫がやや減少(九州)。
- ・メーカーによっては多少の在庫不足の懸念あり、需要期に備えているのでは。若干の特定メーカーには発注が絶えないといった状況(九州)。

(製材品出荷価格動向)

- ・10.5cm柱だけ供給不足でやや上昇(関東)。
- ・販売好調だが、価格は横ばい(関東)。
- ・スギはおおむね横ばい傾向。T社10月値決めもやや下げの可能性あり。ヒノキは品薄感もあるが横ばい(関西)。
- ・ヒノキはほぼ横ばいと予想、但し、4m土台は少し上昇するかも(中国)。
- ・スギ、ヒノキ共に超大型量産工場の出現で単価が上がらなくなった(中国)。
- ・ヒノキは低い所で横ばい(九州)。

28年9月分 製材工場の荷動き・価格先行き動向調査 3

イ. 外材

(1) 製材用原木の荷動き動向 Weight. D. I.

品目		28/9月	10月	11月
仕入動向	米マツ丸太	—	—	—
	NZラジアータ	50.0	50.0	50.0
	北洋エゾマツ丸太	—	—	—
	北洋アカマツ丸太	—	—	—
	北洋アカマツ原板	—	—	—
消費動向	米マツ丸太	—	—	—
	NZラジアータ	50.0	50.0	50.0
	北洋エゾマツ丸太	—	—	—
	北洋アカマツ丸太	—	—	—
	北洋アカマツ原板	—	—	—
在庫動向	米マツ丸太	—	—	—
	NZラジアータ	△ 50.0	△ 50.0	△ 50.0
	北洋エゾマツ丸太	—	—	—
	北洋アカマツ丸太	—	—	—
	北洋アカマツ原板	—	—	—

・ラジアータ丸太の仕入れ、消費は3ヵ月連続して増加。一方、在庫は3ヵ月連続して減少。

(2) 製材用原木等購入価格動向 Weight. D. I.

品目	28/9月	10月	11月
米マツ丸太	—	—	—
NZラジアータ丸太	50.0	50.0	50.0
北洋エゾマツ丸太	—	—	—
北洋アカマツ丸太	—	—	—
北洋アカマツ原板	—	—	—

・ラジアータ丸太の購入価格は強含みで推移。

モニターからのコメント

(原木荷動)

- ・ラジアータ丸太は、秋の需要期が近づいているので、多少需要が増加(中国)。

(原木価格動向)

- ・ラジアータ丸太はUS\$2~3/m3値上がり見込み(中国)。

28年9月分

製材工場の荷動き・価格先行き動向調査 4

(3) 製材品の荷動き動向 Weight. D. I.

品目		28/9月	10月	11月
生産動向	米マツ製材品	—	—	—
	NZラジータ製材品	50.0	50.0	50.0
	北洋エゾマツ製材品	—	—	—
出荷動向	米マツ製材品	—	—	—
	NZラジータ製材品	50.0	50.0	50.0
	北洋エゾマツ製材品	—	—	—
在庫動向	米マツ製材品	—	—	—
	NZラジータ製材品	△ 50.0	△ 50.0	△ 50.0
	北洋エゾマツ製材品	—	—	—
	北洋アカマツ製材品	—	—	—

・ラジータ製材品の生産、出荷とも3ヵ月連続して増加。

・ラジータ製材品の在庫は3ヵ月連続して減少。

(4) 製材品の出荷価格動向 Weight. D. I.

品目		28/9月	10月	11月
	米マツ平角	—	—	—
	米マツ正角	—	—	—
	米マツ小割	—	—	—
	北洋エゾマツタルキ	—	—	—
	北洋アカマツタルキ	—	—	—
	NZ梱包材(割板)	0.0	0.0	0.0
	NZ梱包材(割角)	0.0	0.0	0.0
	NZ土木用材	0.0	0.0	0.0
	その他	—	—	—

・NZ梱包材(割板・割角)及びNZ土木用材の出荷価格は、3ヵ月連続して横ばいで推移。

モニターからのコメント

(製材品荷動き)

・ラジータ製材品は、秋の需要期が近づいているので、多少需要が増加(中国)。

(製材品出荷価格動向)

・ラジータ製材品の価格据え置きが精一杯の状況(中国)。